



### 瀬戸市の未来を拓く仲間を募集中！

【期間】2022年9月11日（日）～  
2023年2月12日（日）

毎月1回の教室形式の講座「リアル講座（全6回）」と、インターネットを利用した「オンライン編集トレーニング（全6メニュー）」を組合せた充実した内容です（詳細は裏面を参照）。

【主な講座内容】編集術の基礎、取材・インタビュー術、地域コンテンツ（ブログ）作成術、映えるカメラ撮影術、本棚編集術、物語術、SNSの心得ほか

第1期受講生の皆さんからは、日々の暮らしからビジネスの現場まで、物の見方が変わり、新鮮で、より充実したとの感想をいただきました。



▲第1期の修了式にて記念撮影

### 瀬戸市立図書館は進化します！

瀬戸市立図書館は「利活用計画」（5ヶ年計画）に基づいて、大きく変わろうとしています。この計画のアドバイザーでもある太田剛さんを講師に招いた、新しい図書館づくりの担い手を養成する「図書館エディター養成講座」は、高校生から90歳超の方まで幅広い受講者の参加があり、大好評につき、第2期を開講することとなりました。

【場所】瀬戸市立図書館ほか（裏面参照）

【定員】25人（先着）

【対象】高校生以上（市外在住の方も歓迎）

【申込方法】[あいち電子申請システム申込フォーム](#)に必ず以下の①～④を御記入のうえ、お申し込みください。

①氏名 ②年齢 ③電話番号 ④メールアドレス

【問合せ】瀬戸市立図書館 TEL：0561-82-2202

Mail：toshokan@city.seto.lg.jp

ただし、全6回のリアル講座全てに参加可能で、インターネット（メールとWeb）を活用したオンライン編集トレーニングに参加が可能な方に限ります。



あいち電子  
申請システム  
申込フォーム  
QRコード

	日程	内容	
第1回	9/11 (日)	基礎編1 13:30~15:30	ガイダンス「瀬戸市立図書館情報編集エディターとは？」 編集講座「知識を編集して共有する～料理からSNSまで」 編集術基礎WS「たくさんの私、たくさんの瀬戸」
			オンライン 編集トレーニングI (1)「2つの編集を使い分ける」 (2)3つの“ものさし” (3)〈型〉にはめる自由
第2回	10/16 (日)	基礎編2 13:30~15:30	編集講座「編集の〈型〉と物語の〈型〉」 編集術基礎ワークショップ「イメージをマネージする」
			オンライン 編集トレーニングII (1)ネーミング術でイメージを際立たせる (2)文章の着替え、乗り換え、持ち替え
第3回	11/13 (日)	基礎編3 13:30~15:30	編集講座「4つの編集秘術とインタビュー術」 「ネット上の文章術〈ブログ・SNS・アーカイブ〉」 「自然に学ぶ・歴史を拓く・文化に遊ぶ」 編集術基礎WS「思い出の構造化と物語化」
			オンライン 編集トレーニングIII (1)キラキラのあの日をコラムにする (2)自分で図書館エディター養成ギブスを課す
第4回	12/11 (日)	応用編1 応用編2 13:30~15:30	写真撮影術「インスタ映えする写真に挑戦」 編集術応用ワークショップ 「語り部の言葉を編集する(インタビュー実践)」 ※瀬戸市の語り部をゲストに招き話を聞く
			オンライン 編集トレーニングIV (1)語り部の話をコラムにしてみる (2)自分で課した図書館エディター養成ギブスのメンテ
第5回	1/15 (日)	応用編3 13:30~17:00	編集術応用ワークショップ「街を歩いて情報を見る・聞く・拾う」 ※瀬戸市内でフィールドワークなど
			オンライン 編集トレーニングV (1)フィールドワークのネタをコラムにしてみる (2)自分で課した図書館エディター養成ギブスを脱ぐ
第6回	2/12 (日)	応用編4 13:30~15:30	ガイダンス「瀬戸市立図書館情報編集エディターの七ヶ条」 編集術応用ワークショップ「瀬戸市のアーカイブ構築に向けて」 修了証授与
			オンライン 編集トレーニングVI (1)瀬戸市立図書館情報編集エディターデビューのためのコラムを書く (2)お互いのデビュー作を語り合う

※受講者の進捗状況や状況により講座内容を変更することがあります。  
※フィールドワークの際は内容に応じて時間を延長することがあります。

【講師】 太田 剛 編集工学と図書館づくりのスペシャリスト



図書館と地域をむすぶ協議会チーフディレクター／慶應義塾大学講師  
活字文化議員連盟「公共図書館Pt」事務局長／編集工学機動隊GEAR代表  
1965年和歌山県生／茨城県出身。高校理科教員を経て、1990年に編集工学研究所(松岡正剛所長)入社。23年にわたり編集工学を応用した地域づくりからシステム開発まで幅広いプロジェクトを統括し、2012年に暖簾分けして独立。幕別町図書館(北海道)を皮切りに、新しい図書館づくりで全国を奔走中。運用システムからデザインまで全面コーディネートした「ふみの森もてぎ」(栃木県茂木町)が第34回、「雲の上の図書館」(高知県梶原町)が第37回日本図書館協会建築賞受賞。2020年には椎葉村図書館「ぶん文Bun」をプロデュース。